



もくじ

- (1) シルバー人材センターの在り方
- (2) シルバー保険のお知らせ、ヒヤリハット事例他
- (3) 一宮の史跡散歩
- (4) 文芸、その他情報

会員数 1,057 人
 男性 714 人
 女性 343 人
 (4月20日現在)

シルバー いちのみや

題字 一宮市長 中野正康 氏

発行(公社) 一宮市シルバー人材センター

〒491-0045 一宮市音羽 1-5-17 (ききょう会館3階)

編集 広報委員会会報班 TEL(0586)71-0105 FAX(0586)73-4367

シルバー人材センターの在り方

現在の暮らしにおいて、コロナ禍前の日常生活が戻りつつあるなか、ウクライナや中東情勢の緊迫化に伴う世界的なエネルギー・食料品価格の高騰等不透明な経済状況も続いており、全国的にもセンターを取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。

さらには、人口減少、少子高齢化が進み、高齢者のより一層の活躍が期待される中、地域の高齢者が地域社会に貢献し、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢に関係なく社会の担い手として活躍することが強く望まれています。

シルバー人材センターを取り巻く環境はここ近年、大きく変化し、インボイス制度やフリーランス法の施行による法改正や、頻発する自然災害や今までに経験したことのない猛暑日などへの対応、企業等の継続雇用の拡大などにより会員の高齢化が進むなか、安全で継続した就業機会の確保は厳しい状況が続いています。

こうした社会の変化に順応しながら、高齢者が豊かな知識や能力を生かし、多様な形で社会参画を行うことが求められており、活力ある高齢社会を支える地域の中核的な組

織として、シルバー人材センターの担う役割は、一層重要なものとなっています。

一宮市シルバー人材センターは、定年退職後等に、臨時的・短期的又は軽易な就業等を通じて、自らの生きがいの充実や就労機会の増大と福祉の増進を図り、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与すべく事業の推進に努めています。

事務局で勧めています Smile to Smile やウェブサイトにより、新しい情報、分かりやすい情報を会員の皆様に伝達していくことは、益々重要性を増し広報委員会ウェブサイト班は、常に更新に努めます。

また、会報班は、会員手作りの会報「シルバーいちのみや」を毎月発行して、常にタイムリーな情報提供を行います。

そして、市広報を通じ町内回覧で会員の募集チラシを配付、地域住民等にシルバー人材センターをPR、新聞の折り込みチラシ公共施設等へパンフレット配布、ポスター掲示等により普及啓発に努めて参ります。

センターが高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、『社会の支え手』として実践できますよう会員皆様のご協力をお願いします。

事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな
 安心・安全・親切・丁寧

全国シルバーのスローガン
 一宮市シルバー人材センター基本方針

令和7年度シルバー保険のお知らせ

(傷害保険・賠償責任保険)

☆保険期間 令和7年5月1日(木)
 ～令和8年5月1日(金)

☆保険料(年間会費「2,400円」を含む)
 会費は、令和6年度と同額です。

6年度は、保険による補償が多くありましたが会員の皆さんの負担が増えないように保険会社(代理店)と交渉しました。

今後、保険料及び補償内容が変動となった場合は、会報紙に掲載いたします。

※保険適用となる事故が多発しますと、次年度の保険料が、増額となりますのでくれぐれも事故には十分に注意してください。

☆保険金額

【傷害保険】

傷害保険の種類と保険金	
保険金の種類	令和7年度
死亡・後遺障害 保険金	600万円
入院保険金 (1日)	4,000円
通院保険金 (1回)	2,000円

※入院・通院の給付日数には限度があり、保険会社の査定によります。

【賠償責任保険】

対人・対物共通

1事故につき 1億円

※その他各種特約が付加されています。

(注) 1万円までは、会員による実費負担となります。

すべての事故が保険適用とは限りません。

保険対応出来ない事故については全額会員の個人負担となる場合があります。事故を起こさないよう十分注意して就業しましょう。

安全就業緊急パトロールの実施

令和7年3月19日(水)に県シ連の主導による「安全就業緊急パトロール」が実施されました。

安全就業緊急パトロールは、令和6年度中に長期入院の重大事故や高額賠償責任事故が発生した県内のセンターを対象として行われました。当センターも令和6年度中に高額賠償責任事故が発生したため、パトロール先の対象となりました。緊急パトロールが開催されたのは4センターでしたが、その中でも当センターの事故件数がワーストワンでした。

パトロール当日は県シ連の職員1名、センター職員3名、安全就業委員会委員長1名の計5名で臨みました。内容については草刈り現場1か所の視察と令和6年度に発生した高額賠償責任事故及び重篤傷害事故の振り返りです。

令和6年度ヒヤリハット事例抜粋

◇駐輪場自転車整理で、強風により1台の自転車が倒れハット、続けて将棋倒しのようになり数台が倒れてきて足が挟まれるかとヒヤリ。

(神山) 後藤 昌弘

◇自転車で走行中、障害物を避けようとし車輪が側溝のグレーチング蓋で滑り転倒しそうになりヒヤリ。

(葉栗) 岩田 富士男

◇道路上では歩行者、自転車、自動車など混在し、私は特に自転車が危険であると思います。二輪ですのでバランスを崩すと転倒します。思った以上に速く寄って来るので自動車にはヒヤリハットを生む大敵です。

(西成) 安藤 謙一

皆さんも、こんな事例を参考とし安全に役立ててください。

何よりも 安全第一 あわてるな

令和6年度安全標語 最優秀作品 (木曾川) 稲盛 勝

一宮の史跡散歩

天神の渡し跡

今の日光川が木曾川の本流であった頃、安土桃山時代から江戸時代へと移る頃の美濃路の渡し跡です。萩原町にある天神社と対岸の西萩原にある天神神社は渡し舟の発着場でしたし、この渡しの辺りは古川、萩原川ともいわれ、川幅は数百メートルとかなり広がったようです。尚、織田信長が初めて斎藤道三と富田の聖徳寺で会見した帰り、道三がこの渡しまで見送ったとも伝えられています。

天正14年(1586年)の大洪水以降、主要流路が現在のように起方に移り、萩原川は川幅も狭まって板橋となり、渡しも起側に移りました。その間の経緯は、起宿本陣加藤家文書中の天正19年と推定される豊臣秀吉四奉行からの『萩原船頭給継目証文』等によって知られます。

江戸時代には、東海道と中山道とを結ぶ脇往還として美濃路は繁栄し、萩原宿や起宿も賑わいを見せ、徳川家康が関ヶ原の戦いから凱旋して通ったので、御吉例街道ともいわれています。



萩原町・天神社の天神の渡し跡の石碑



萩原町・天神社



西萩原・天神神社の天神の渡し跡の石碑と案内板



西萩原・天神神社

歴代作品展参加作品紹介

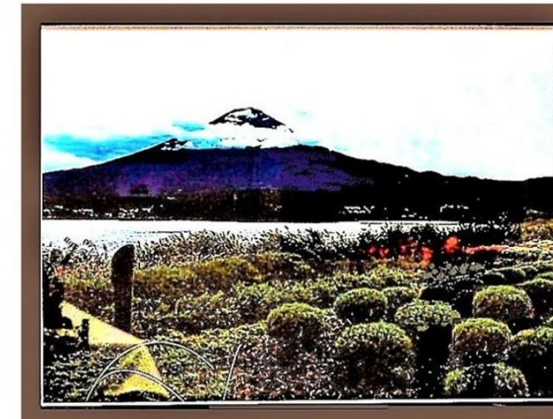


写真 初秋の富士 佐野俊司



絵画 我が街の彩り 野田末治

会員の文芸

俳句

(今伊勢) 八谷博次

群れを成し川面を渡るこいのぼり
ツツジの木色とりどりの展示会

川柳

(木曾川) 桐田恵行

石破さん安倍と同じく指名だけ
指名され全力で終わりたり

いつの間に桜過ぎて夏は来ぬ

(大和) 越野高光

夜桜満開今年はしげれた

値上げラッシュで淋しい懐

春が来て布団減らして風邪をひく

(西成) 澤田良晴

下戸だけど春をあてにし顔赤く

春が来た淡く輝く通学路

楽(たの)散歩春を採取し腹の中

4月1日付 職員の人事異動について
事務局職員に異動がありましたので、お知らせします。
退職職員につきましては、皆様からご支援を賜り誠にありがとうございました。
新任の職員につきましては、これから皆様にお世話になりますが前任者同様どうぞよろしくお願いいたします。

退職

(本部) 再任用職員 前里 秀成

(本部) 事務局長 石黒 直樹

(尾西支部) 支部長 山田 浩三

新任

(本部) 再任用職員 古田 幸康

(本部) 事務局長 長谷川 明

(尾西支部) 支部長 松岡 頼彦

今月の言葉歳時記はお休みします。

